

**令和5年度第3回車座トーク（10月6日県立大学浜田キャンパス）でいただいた
ご意見に対する県の対応**

テーマ「活気あふれる未来の暮らしを語ろう！～私たちが考える理想の町とは～」

いただいたご意見	県の考え方・対応
<p>県民が島根県や島根県の魅力についてもっと知るべきだと思っており、島根県民の日があれば、県民が島根県のことについて考えられるきっかけになるのではないか。</p>	<p>「県民の日」を制定することについては、県民であることの誇りやふるさと島根を愛する姿勢を育むことの大切さを、県民全体で共有するための一つの方法と考えます。こうした思いを共有できるよう様々な取組を進める中で、ご意見を今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>竹島の日をもっとアピールするなど、県民が竹島について考えられる日に変えていけたらいい。</p>	<p>「竹島の日」は、竹島領土権の早期確立を目指した運動を推進し、竹島問題についての国民世論の啓発を図るために定められたものです。「竹島の日」について、島根県はもとより、全国の皆様に関心を持っていただけるよう、今後とも取り組んでまいります。</p>
<p>若い人が行動を起こしやすいような、堅苦しくない交流の場があれば、若者は新しいことにチャレンジしやすいのではないか。また、地域の活躍の場につなげるコーディネーターのような人がもっと増えたら、島根もよくなるし、色々な人が地域を自分事化できるのではないか。</p>	<p>県では、学生とのつながりを創出・維持することを目的として、しまねセカンドキャンパス事業や市町村のモデル的な取組を支援しています。県や市町村による情報発信、イベント開催や活動機会の提供など、行動を起こしやすい、堅苦しくない交流の場を各地域で持てるよう、事例の共有を図っていきます。</p>

○今後の取組を検討するうえで参考とさせていただくご意見

- ・遊びに行こうと思ったときに車がないと行けなかったり、時間が限られていたり、何か活動したいときに動けないことが歯がゆい。それが解決できれば新しい人の交流ができるのではないか。